第 10 回　安来市優良建設工事表彰

選定工事	施工業者	担当技術者
令和 3 年災 第 859 号 久白意東線道路災害復旧工事	株式会社田中建設	永島 嘉巳
社会資本整備総合交付金事業 黒鳥細井線道路改良工事	有限会社 忍谷建設	畑 亘
比田地区配水管改良工事(その 4)	ｱｸｱｼｽﾃﾑ株式会社	宇賀 博司
安来運動公園野球場バックスクリーン等塗装改修工事	有限会社 板持塗装店	余村 忠好
伯太庁舎空調設備改修工事(電気)	株式会社 八束電工 安来営業所	福井 滝雄

令和４年度完了の工事について、難易度や出来栄え、地域貢献度、技術力や創意工夫のあった点など、施工面での評価を行い土木部門２件・水道部門１件・建築部門２件の計５件の工事を優良建設工事として選定し施工業者、技術者を表彰しました。

専門委員会推薦工事(土木部門)

令和３年災 第859号 久白意東線道路災害復旧工事

【工事成績評定点】

80.0 点

【請負金額】

36,004,100 円

【工期（ ）内は契約上の工期】

着手：R4.3.8 (R4.3. 8)

完了：R4.8.31 (R4.8.31)

【受注者】

株式会社　田中建設

(現場代理人)　永島　嘉巳

(担当技術者)　永島　嘉巳

【工事概要】

復旧延長	A=34m
掘削工	V=500 ㎥
法面整形工	A=660 ㎡
法枠工	A=666 ㎡

【推薦理由】

現場は道路法面の高い位置から崩壊しており、斜面上部の法面掘削・整形についてはセーフティークライマー工法(ワイヤーで吊った機械をリモコン操作にて掘削を行う工法)を採用した。現場においても、本工法を使用して工事を行ったが、工期延期することなく工事を完了することができた。

専門委員会推薦工事(土木部門)

社会資本整備総合交付金事業　黒鳥細井線道路改良工事

【工事成績評定点】

81.0 点

【請負金額】

27,534,100 円

【工期（ ）内は契約上の工期】

着手：R3.10.26(R3.10.26)

完了：R4. 7.29(R4.7.29)

【受注者】

有限会社　忍谷建設

(現場代理人)　畑　亘

(担当技術者)　畑　亘

【工事概要】

道路改良延長	L=184.4m
排水構造物工	L=230m
区画線工	L=253m
法面工	A=462 ㎡
舗装工	A=851 ㎡

【推薦理由】

創意工夫において、仮設道路の設置や掘削時の現道への影響を考慮した仮設土留工の提案などがあり、無事故で工事を進めることができた。また、交通安全対策・雨水排水対策等の地域貢献もあった。

専門委員会推薦工事(水道部門)

比田地区配水管改良工事(その 4)

【工事成績評定点】

83.0 点

【請負金額】

20,200,400 円

【工期（ ）内は契約上の工期】

着手：R4.12.9(R4.12.9)

完了：R5.3.20(R5.3.20)

【受注者】

アクアシステム　株式会社

(現場代理人)　宇賀　博司

(担当技術者)　宇賀　博司

【工事概要】

配水管 PEP φ100mm L=360.8m

給水管接続　N=13 箇所

【推薦理由】

地域貢献として工事区間以外の除雪作業を行い周辺への配慮を行った。また、施工に際して入念な現地照査を行い、監督員と細かな協議を積み重ねることにより工程管理と事故防止対策を的確に行った優良な工事である。

専門委員会推薦工事(建築部門)

安来運動公園野球場バックスクリーン等塗装改修工事

【工事成績評定点】

81.0 点

【請負金額】

6,490,000 円

【工期（ ）内は契約上の工期】

着手：R5.2.18(R5.2.18)

完了：R5.3.30(R5.3.30)

【受注者】

有限会社　板持塗装店

(現場代理人)　安部　航太郎

(担当技術者)　余村　忠好

【工事概要】

防球フェンス（630 ㎡）、スコアボード（180 ㎡）、コンクリート壁（91 ㎡）の塗装改修工事

【推薦理由】

天気により進捗を左右される 2 月からの工事であったが、屋根養生等を設置し朝露対策等の工夫が行われ、工事を円滑に進めることに努めた。

専門委員会推薦工事(建築部門)

伯太庁舎空調設備改修工事(電気)

【工事成績評定点】

80.0 点

【請負金額】

13,393,600 円

【工期（ ）内は契約上の工期】

着手：R4.9.17(R4.9.17)

完了：R5.3.29(R5.3.30)

【受注者】

株式会社　八束電工　安来営業所

（現場代理人）　福井　滝雄

（担当技術者）　福井　滝雄

【工事概要】

伯太庁舎空調設備改修工事【１工区】に伴う電気設備工事

【推薦理由】

停電を伴う工事であった。キュービクルの改造に際し、工場作成した取付用パネルに増設ブレーカを装着し取り付けることで施工時間の短縮に努めた。また、停電時の安全作業書を作成し、機械設備施工者や中国電気保安協会等と密に調整を行い、予定より早めの復電となった。